

【2026 年度/教養科目領域/学術科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
教育原理		選択	2	1.2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
梶原 昇	B317	noboru.kajihara			
授業の目的・概要	医療や福祉の活動は、そこに携わる者が適切に相手を支えることができるかが課題となる。そこで、この授業では、支援者として教育というものの意味や目的・役割などを正しく理解して臨むこと、支援者としての基本的な姿勢を学ぶことを目的とする。具体的には教育問題について PBL、ディスカッションを通じてその理解を深める。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	自分自身がこれまで学んできた小学校、中学校、高等学校は教育学から見て、どのような存在であったのか考察し、教育とは何か、一緒に学んでいきましょう。				
教科書	最新教育原理 第2版/安彦忠彦・石堂常代/勁草書房/2020年				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	教育とは何かについて考え、人が生きる上で大切な役割を持つことが理解できる。			HSU(1),(2),(3),(5)	
②	教育の役割と医療・福祉の活動場面との結びつきを理解し説明できる。			HSU(1),(2),(3),(5)	
③	教育の持つ役割が他者との関わりの中で表現できる。			HSU(1),(2),(3),(5)	
④	教育学を学んだことが自身にどれだけ影響を与えたか説明できる。			HSU(5),(6)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	教育原理の概要について学ぶ。	対面、PBL、GW	講義中に出された課題を実践する	4	
2	日本の教育 歴史と展開 (p44~p59)	対面、PBL、GW	講義中に出された課題を実践する	4	
3	日本の教育制度と行政(p79~p90)	対面、PBL、GW	講義中に出された課題を実践する	4	
4	学校と教師(p106~p117)	対面、PBL、GW	講義中に出された課題を実践する	4	
5	世界の教育 歴史と展望(p60~p75)	対面、PBL、GW	講義中に出された課題を実践する	4	
6	主要国の学校制度(p91~p105)	対面、PBL、GW	講義中に出された課題を実践する	4	
7	教育の内容と教育課程(p118~p131)	対面、PBL、GW	講義中に出された課題を実践する	4	
8	教育の方法と技術(p132~p144)	対面、PBL、GW	講義中に出された課題を実践する	4	
9	人間の能力は測定できるのか。	対面、PBL、GW	講義中に出された課題を実践する	4	
10	道徳教育・特別活動(p145~p159)	対面、PBL、GW	講義中に出された課題を実践する	4	
11	総合的な学習 (探求) (p160~p170)	対面、PBL、GW	講義中に出された課題を実践する	4	
12	生徒指導と教育相談(p183~p195)	対面、PBL、GW	講義中に出された課題を実践する	4	
13	進路相談とキャリア教育(p196~p201)	対面、PBL、GW	講義中に出された課題を実践する	4	
14	特別支援教育の原理(p202~p216)	対面、PBL、GW	講義中に出された課題を実践する	4	
15	教育の目的と本質(p3~p30)	対面、PBL、GW	講義中に出された課題を実践する	4	
試	達成度評価・評価のポイント参照				

【2026 年度/教養科目領域/学術科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		50	20	20	10	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	30	0	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	10	0	10	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	10	10	0	10	0	30
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	講義で学習した内容から出題する(穴埋め式)。文章力及び問題を発見・解決する力を問う文章題。				答案返却時に解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	教育問題についてのレポートで評価を行う。評価はABCの3ランク(4,3,2)で評価点をつける。5回行う。				評価後解説を行う。
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①		グループワーク、ディスカッションにおける口頭での成果発表を評価する。評価はABの2ランク(4,3)で評価点をつける。5回行う。				評価時に解説を行う。
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①		評価はABの2ランク(2,1)で評価点をつける。5回行う。				評価時に解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	担当教員は、高等学校の教員として 40 年の実務経験を有する。また、支援学校教諭の免許も取得し、小中学校で支援員として 9 年間生徒へ関わってきた。						
実践的授業の内容	高校教員としての勤務経験を活かして、実例を交えながら授業を展開していく。						
そ の 他	授業中の私語やスマートフォンの操作は禁止する。 講義の進捗状況や学生の理解度に応じシラバスを変更することがある。						